

2022年度第2四半期の貯金残高について

2022年11月29日



1 2022年度第2四半期の貯金残高について

- 2022年9月末の「個人貯金等」は2022年3月末比で0.6兆円増加の189.3兆円(2021年度は1.9兆円の増加)(A)
- 貯金種類ごとに見ると、
 - ア 定期性貯金については、減少傾向が継続 (B)
 - イ 流動性貯金である通常貯金については、行動制限の緩和等により、消費が促進され増加幅が縮小 (C)

注 「個人貯金等」とは、貯金残高から、法人等の決済性預金 (= 振替貯金 (一般))、大口定期、その他貯金を除いたもの

(単位：兆円)

	①2022年3月末	②2022年9月末	増減 (② - ①)	2021年度 同期の増減	2020年度 同期の増減
貯金残高	193.4	193.7	0.2	2.0	4.4
個人貯金等	188.6	189.3	Ⓐ 0.6	1.9	4.3
通常貯金	101.5	104.2	Ⓒ 2.7	4.6	7.2
定額貯金	76.6	74.4	▲2.2	▲3.1	▲2.9
定期貯金 <small>大口定期 除く</small>	4.3	3.8	Ⓑ ▲0.4	▲0.1	▲0.2
振替貯金 (総合)	6.1	6.7	0.5	0.5	0.4
法人貯金等	4.5	4.2	▲0.3	0.1	0.0
振替貯金 (一般)	4.5	4.2	▲0.3	0.1	0.0
大口定期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

※ 貯金残高には未払利子を含まない

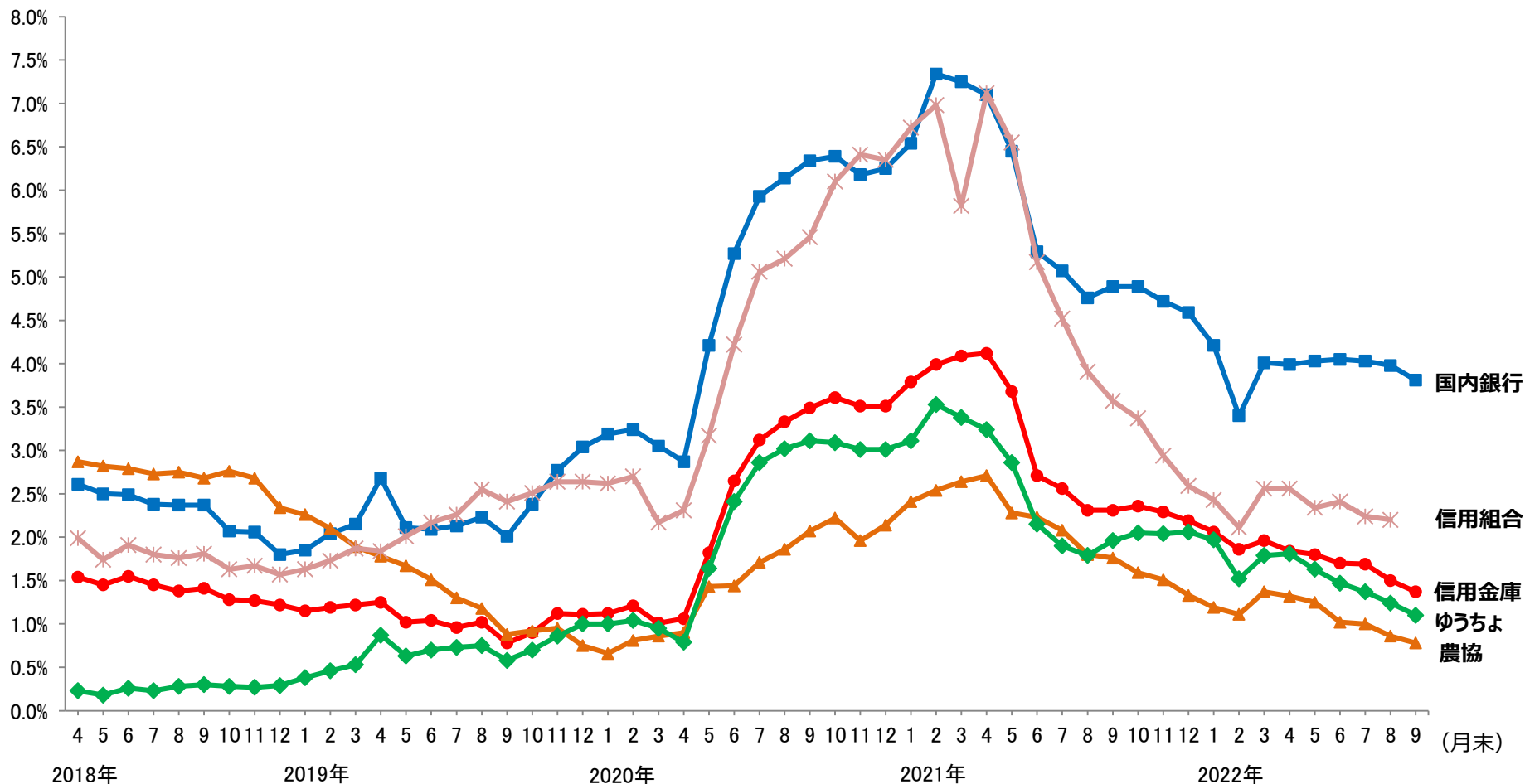
※ 自社株取得に伴うグループ会社の貯金等の特殊要因を除く

※ 大口定期は、預入限度額適用除外法人等及びグループ会社による 1,000万円以上の定期貯金

2 業態別の預貯金残高（対前年増減率）について

○ ゆうちょ銀行の「個人貯金等※1」の伸び率は、業界の中でも相対的に低位で推移。

業態別預貯金の増減率(前年同月比)の推移



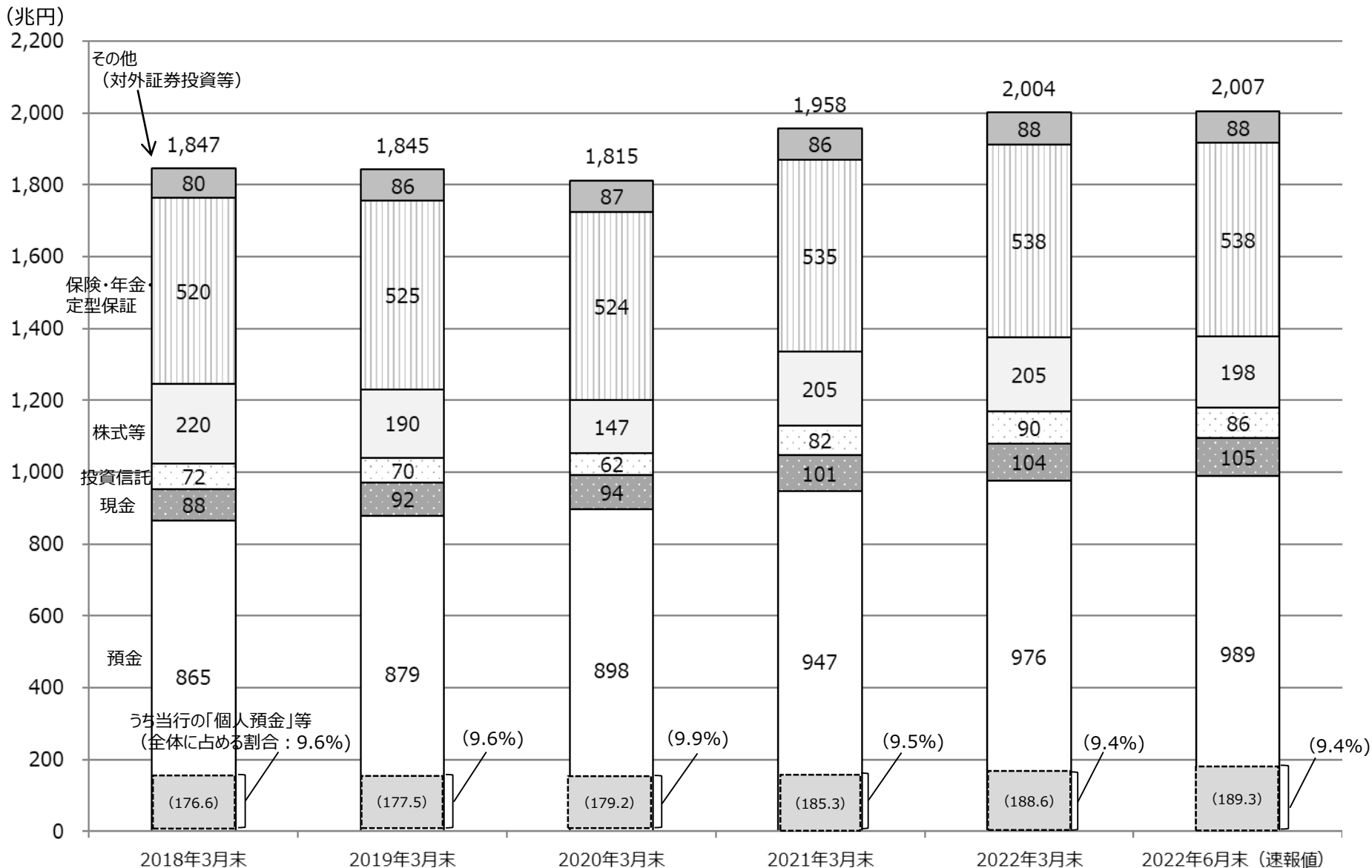
※1 ゆうちょは大口定期、一般振替貯金、その他貯金は含まない（＝「個人貯金等」のベース）

※2 農協・信用組合は法人貯金含む

※3 国内銀行（都市銀行、地方銀行、信託銀行）・信用金庫は個人預金（出所）日本銀行「預金・貸出関連統計」

※4 ゆうちょ残高に元加利子は含まない

<参考 1> 「家計の金融資産」に占める当行の貯金の割合

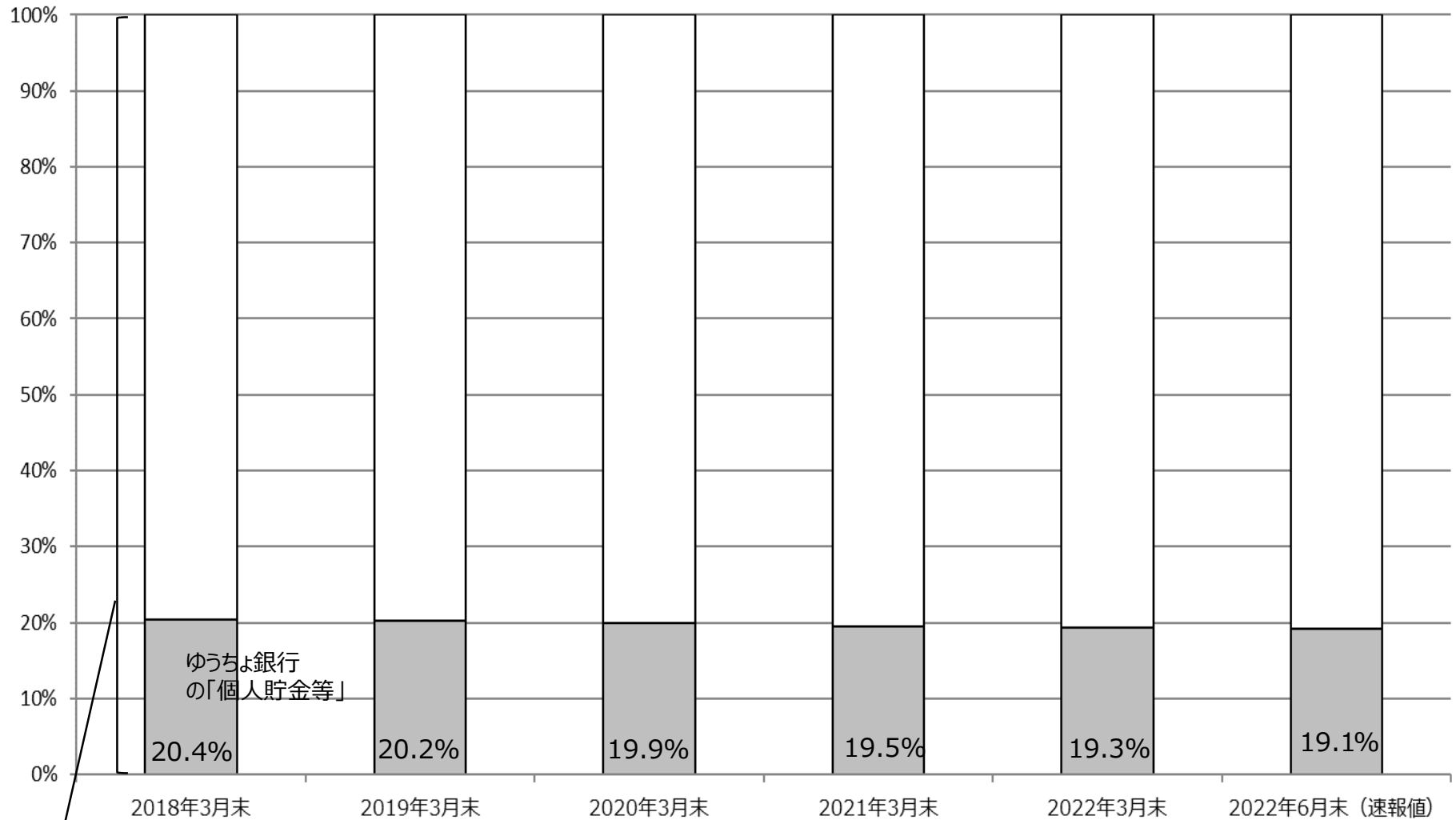


※ 家計の金融資産残高は、日銀資金循環統計から作成。2022年6月末の値は速報値。

※ 預金は、「流動性預金」+「定期性預金」の合計金額。「外貨預金」については、「その他」に含めている。

※ 資産額について単位未満は切り捨てて表示。

<参考 2> 家計部門の「預金」に占める当行の貯金の割合



家計の金融資産のうち預金
(外貨預金を除く)

※ 日本銀行「資金循環統計」における家計の金融資産のうち、「流動性預金」及び「定期性預金」の合計金額を分母とし、ゆうちょ銀行の「個人預金等」残高を分子とした割合

※ 2022年6月末の資金循環統計は速報値